

記者発表

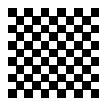
令和6年4月12日

仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会

(公財)仙台市スポーツ振興事業団

〔担当〕須田・上田

☎ 022-297-1322



仙台国際ハーフマラソン 2024

SENDAI INTERNATIONAL HALF MARATHON

令和6年(2024年)5月12日(日)

『仙台国際ハーフマラソン 2024』が開催されます

1万人出場のエリート・一般の部は、10時05分にスタート！！

令和6年(2024年)5月12日(日)に開催する『仙台国際ハーフマラソン2024』の概要および
主な出場選手等について、お知らせいたします。

記

- 添付書類
- 1) 大会概要について
 - 2) 主な出場選手等について
 - 3) 関連イベントについて

〔別紙資料〕取材のご案内

【招待選手の欠場について】

資料に記載されている招待選手のうち

- ・国内特別招待 **一山 麻緒** 選手 (資生堂)
- ・車いす特別招待 **副島 正純** 選手 (ソシオSOEJIMA)
- ・実業団招待 **前田 将太** 選手 (ロジスティード)
- ・実業団招待 **キプケモイ・ジョアン** 選手 (九電工)
- ・実業団招待 **森田 香織** 選手 (パナソニック)

以上の5選手につきましては、参加申込み後に『欠場』となりましたので、お知らせします。

仙台国際ハーフマラソン大会 実行委員会

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-11-6 弘進ゴムアスリートパーク仙台 (公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ事業課内

☎ 022-297-1322 FAX 022-297-1323 E-mail sendai_half@spf-sendai.jp

1)大会概要について

- 1 大会名 仙台国際ハーフマラソン2024
- 2 主催 仙台市、(公財)仙台市スポーツ振興事業団、(一財)宮城陸上競技協会、仙台市陸上競技協会、みやぎ障害者陸上競技協会、河北新報社、東北放送
- 3 後援 (公財)日本陸上競技連盟、(一社)日本パラ陸上競技連盟、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市スポーツ協会、仙台市スポーツ推進委員協議会、仙台市学区民体育振興会連合会、NHK仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、khtb 東日本放送、朝日新聞社仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞仙台支局、日刊スポーツ新聞社東北総局
- 4 主管 仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会
- 5 協力 宮城県警察、仙台市交通指導隊、仙台市消防局、仙台市立病院、仙台医療センター、仙台市医師会、仙台市交通局、仙台市障害者スポーツ協会、宮城県障害者スポーツ協会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、株式会社ジェー・シー・アイ、仙台市障害者スポーツ指導者協議会、宮城県障害者スポーツ指導者協議会、宮城県心筋梗塞対策協議会、特定非営利法人ALPEN、東北医科薬科大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北学院大学、聖和学園短期大学、尚絅学院高等学校、聖和学園高等学校、星槎国際高等学校仙台学習センター、宮城県仙台二華高等学校、仙台市立長町中学校、仙台市立東華中学校、仙台リゾート&スポーツ専門学校、東北文化学園専門学校、仙台医健・スポーツ専門学校、仙台赤門医療専門学校、公益社団法人宮城県鍼灸師会、キネシオテーピング協会 東北支部、公益社団法人宮城県柔道整復師会、市民スポーツボランティアSV2004、日本運輸倉庫株式会社 仙台支店、仙台国際ホテル株式会社、スポーツコミッションせんだい、株式会社テレコム 東北支店、仙台明走会、三友レッカー株式会社
- 6 種目 ハーフマラソン(21.0975km)
- 7 開催日 2024年(令和6年)5月12日(日)
- 8 日程

■5月10日(金)

・10:00～ 市長表敬(国際姉妹都市・友好・協定締結都市選手)／仙台市役所

■5月11日(土) 大会前日

・14:00～15:00 特別招待選手記者会見／ウェスティンホテル仙台
・15:45～16:30 感謝状授与式・特別表彰式／ウェスティンホテル仙台

■5月12日(日) 大会当日

・7:00 開場(手荷物預かり開始)／弘進ゴム アスリートパーク仙台(以下、弘進パーク仙台)
・9:45 車いすの部 スタート
・10:05 第1ウェーブ スタート(エリート部の部、日本陸連登録者の部、一般の部)
・10:10 第2ウェーブ スタート(一般の部)
・12:42 競技終了

- 9 コース 弘進パーク仙台／東側路上(スタート)～<折返し>イオンスタイル仙台卸町前～<折返し>定禅寺通141ビル前～<折返し>二十人町いたがき本店前～弘進パーク仙台(フィニッシュ)
※日本陸上競技連盟／公認コース、ワールドアスレティックス(WA)／認証コース
※ワールドパラアスレティックス(WPA)／認証コース *2024年承認

10 定員・参加料

| 種目 | 定員 | 参加料 |
|-------------|--------|--------|
| 招待選手等 | 100名 | — |
| エリート部の部 | 100名 | 8,000円 |
| 日本陸連登録競技者の部 | 1,400名 | |
| 一般の部 | 8,200名 | 7,000円 |
| 車いすの部 | 100名 | |

11 制限時間

2時間30分(※参加資格は2時間25分以内で完走できる方、車いすの部は1時間30分)

12 参加募集

- 1)エリート部の部／日本陸連登録の部
2023年(令和5年)12月 6日(水)20:00～12月12日(火)まで *先着
- 2)一般の部
2023年(令和5年)12月13日(水)20:00～12月19日(火)まで *先着
2023年(令和5年)12月21日(木) 9:00～12月27日(水)まで *抽選
- 3)車いすの部
2023年(令和5年)12月 6日(水)20:00～12月27日(水)まで *先着
定員未達のため、受付期間延長1月29日(月)まで
- 4)チャリティランナー
2024年(令和6年) 1月 9日(火) 9:00～ 1月29日(月)まで *先着
- 5)海外エントリー
2023年(令和5年)12月13日(水)20:00～12月27日(水)まで *先着
定員未達のため、受付期間延長1月29日(月)まで
- 6)出走権付宿泊プラン
2023年(令和5年)12月21日(木) 9:00～12月27日(水)まで *先着
定員未達のため、1月18日(木)～2月4日(日)で追加募集

【参考】救護ボランティアランナー

2023年(令和5年)12月 6日(水)～2024年(令和6年)1月 9日(火)まで *39名申込み

13 表彰

- 1) エリート・部・日本陸連登録競技者の部/総合
男女各1～8位に、賞状・記念品を授与。
表彰式では1～3位のみを表彰、4～8位の入賞者には賞状、記念品を後日送付。
- 2) 一般の部
男女各総合1～8位に、賞状及び記念品を授与。
表彰式では1～3位のみを表彰、4～8位の入賞者には賞状、記念品を後日送付。
年代別(下記の5区分)は、男女各1～8位に、賞状・記念品を授与。
①18歳～29歳 ②30歳～39歳 ③40歳～49歳 ④50歳～59歳 ⑤60歳以上
※年代別の順位は「ネットタイム」により決定する。1～8位に賞状・記念品を後日送付。
- 3) 車いすの部
男女各1～8位に、賞状および記念品を授与。
表彰式では1～3位のみを表彰、4～8位の入賞者には賞状、記念品を後日送付。
- 4) 1歳刻み表彰
大会当日の年齢を対象に、各年齢の男女別1～10位を表彰。
※カテゴリー(エリート・陸連登録・一般)を問わず、ネットタイムで順位を決定し、対象者に賞状を後日送付。

14 申込み状況(3/15時点集計)

■エリート・部・日本陸連登録競技者の部・一般の部

| 種別 | | 男 | 女 | 計 |
|---------------------------------|----------------|-------|-------|--------|
| 招待 関係 | 国内特別 | 2 | 2 | 4 |
| | 国際姉妹・友好/協定締結都市 | 5 | 5 | 10 |
| | 実業団等 | 17 | 13 | 30 |
| | 大学 | 4 | 1 | 5 |
| | 東北陸上競技協会 | 5 | 3 | 8 |
| | 東北学生陸上競技連盟 | 0 | 1 | 1 |
| | 都市交流(久米島) | 1 | 1 | 2 |
| 招待選手/合計 | | 34 | 26 | 60 |
| エリート・部(実業団・大学等) | | 59 | 3 | 62 |
| エリート・部 | | 26 | 32 | 58 |
| 日本陸連登録競技者の部 | | 602 | 89 | 691 |
| エリート・部・日本陸連登録競技者の部/合計 | | 687 | 124 | 811 |
| 一般の部(チャリティランナー34名、海外ランナー78名を含む) | | 7,962 | 1,694 | 9,656 |
| 一般の部(ゲストランナー) | | 2 | 1 | 3 |
| 一般の部/合計 | | 7,964 | 1,695 | 9,659 |
| 合計 | | 8,685 | 1,845 | 10,530 |

■車いすの部

| 種別 | | 男 | 女 | 計 |
|----------|--|----|---|----|
| 国内特別 | | 1 | 1 | 2 |
| 招待 | | 2 | 0 | 2 |
| 一般 | | 15 | 1 | 16 |
| 車いすの部/合計 | | 18 | 2 | 20 |

【合計】

| 種別 | | 男 | 女 | 計 |
|-----------------------------|--|-------|-------|--------|
| ハーフマラソン/エリート・部・日本陸連登録競技者・一般 | | 8,685 | 1,845 | 10,530 |
| ハーフマラソン/車いす | | 18 | 2 | 20 |
| 合計 | | 8,703 | 1,847 | 10,550 |

【参加者データ分析】

- ①都道府県別/福井県を除く都道府県より参加
 - ②宮城県の参加者/5,737名で全体の約54.37%(前回は約53.20%)
 - ③仙台市の参加者/4,169名で全体の約39.51%(前回は約39.61%)
 - ④県外で最も多い都道府県/東京都1,116名で全体の約10.57%(前回は約11.79%)
- ※参考:神奈川県506名、山形460名、福島432名、埼玉380名、岩手323名
- ⑤海外の参加者/78名(男性60名、女性18名)
- ※国際姉妹都市10名を除く

2) 主な招待選手等について

1. 特別招待選手

[男子特別招待]

川内 優輝 KAWAUCHI Yuki

あいおいニッセイ同和損害保険 1987年3月5日生 (37歳)



男子マラソン日本代表として世界陸上に4度(2011年・大邱、2013年・モスクワ、2017年・ロンドン、2019年・ドーハ)出場。ワールドマラソンメジャーズの一つである2018ポストンマラソンにて、日本人として31年ぶりに優勝する等、輝かしい実績を持つ。通算130回目のフルマラソンとなった2024パリ五輪マラソン日本代表選考会マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)では、雨が降りしきる中スタート直後から飛び出し終盤35km過ぎまで独走する魂の走りで4位に食い込み、大いに存在感を示した。MGCの激走からわずか49日後の2023防府読売マラソンでは2時間08分32秒の好タイムで5度目の優勝を飾るなど、好調を維持。今回、通算11回目の出場となる社の都での走りに期待。

自己最高記録

ハーフマラソン: 1時間02分13秒(2022全日本実業団ハーフマラソン)
マラソン: 2時間07分27秒(2021びわ湖毎日マラソン)

主な戦績

2023防府読売マラソン/1位/2時間08分32秒
2023マラソングランドチャンピオンシップ/4位/2時間09分18秒
2023大阪マラソン/12位/2時間07分35秒
2021びわ湖毎日マラソン/10位/2時間07分27秒
2018ポストンマラソン/1位/2時間15分58秒

1

[男子特別招待]

小山 直城 KOYAMA Naoki

Honda 1996年5月12日生 (28歳)



埼玉県出身。松山高校3年時の全国都道府県対抗男子駅伝で4区間賞に輝く。東京農業大学ではチームとして箱根駅伝に出場できなかったものの2年時に関東学生連合の一員として4区に出場。現所属ではニューイヤー駅伝で頭角を現し2022年に3区で9人抜きを演じて初優勝に貢献。初マラソンとなった2022年東京マラソンでは2時間08分59秒の好タイムを記録。4回目のマラソン出場となった2023ゴールドマラソンでは、2時間07分40秒の自己新で初優勝を果たす。同年の10月開催されたパリ五輪マラソン代表選考会マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)では、強い雨が降る悪天候の中、終始冷静にレースを展開し、勝負どころの39km地点でスパートをかけ2時間08分57秒のタイムで見事に優勝。パリ五輪への出場権を獲得する。今年2月の大阪マラソンでは2時間06分33秒のタイムで3位に入り、自己ベストを1分以上も更新し好調を維持。今回3度目の出場となる社の都でのレースは、記念すべきバースデーレースでもあり、世界につながる走りに期待。

自己最高記録

5000m: 13分38秒81(2020ホクレンDC千歳)
10000m: 27分55秒16(2021ホクレンDC深川)
ハーフマラソン: 1時間01分08秒(2020全日本実業団ハーフマラソン)
マラソン: 2時間06分33秒(2024大阪マラソン)

主な戦績

2024大阪マラソン/3位/2時間06分33秒
2023マラソングランドチャンピオンシップ/1位/2時間08分57秒
2023ゴールドコーストマラソン/1位/2時間07分40秒

2

[女子特別招待]

一山 麻緒 ICHIYAMA Mao

資生堂 1997年5月29日生 (26歳)



鹿児島県出身。出水中央高等学校卒業後に名門実業団チームに入部。入社1年目に出走した2016全日本実業団対抗女子駅伝の1区(7km)で21分50秒の区間新記録を樹立し、頭角を現す。初マラソンとなった2019東京マラソンで2時間24分33秒の好タイムで7位入賞。翌年の2020名古屋ウィメンズマラソンで、2時間20分29秒の当時日本歴代5位(女子単独レース/アジア・日本最高)の好タイムでマラソン初優勝を果たし、見事に2020東京五輪への切符を手中に取る。新型コロナの影響で2021年に開催された東京五輪では、女子マラソンで日本人として17年ぶりとなる8位入賞を果たす。2023年10月に開催されたパリ五輪マラソン代表選考会マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)では、冷たい雨が降り続く難しいコンディションの中、見事2位に入り2大会連続の五輪代表に内定。今回2回目となる社の都でのレースで世界につながる走りに期待。

自己最高記録

5000m: 15分06秒66(2020ホクレンDC千歳)
10000m: 31分11秒56(2021日本陸上競技選手権大会)
ハーフマラソン: 1時間08分28秒(2021札幌チャレンジハーフマラソン)
マラソン: 2時間20分29秒(2020名古屋ウィメンズマラソン)

主な戦績

2023マラソングランドチャンピオンシップ/2位/2時間24分43秒
2022東京マラソン/6位(日本人1位)/2時間21分02秒
*鈴木健吾選手(2:05:28)+一山麻緒選手(2:21:02)は合計記録でギネス世界記録認定
2021東京オリンピック女子マラソン/8位/2時間30分13秒
2021大阪国際女子マラソン/1位/2時間21分11秒
2020名古屋ウィメンズマラソン/1位/2時間20分29秒

201

[女子特別招待]

前田 穂南 MAEDA Honami

天満屋 1996年7月17日生 (27歳)



兵庫県出身。大阪薫英女学院高校3年時に1500mでインターハイ大阪府大会を大会新記録で優勝。現所属では、ロードレースで頭角を現し、2度目のマラソン挑戦となった2017北海道マラソンで2時間28分48秒のタイムで見事に優勝。2018大阪国際女子マラソンでは、2時間23分48秒で2位となり自己ベストを5分更新。2019マラソングランドチャンピオンシップでは、圧巻の走りで2位に4分近い大差をつけて2時間25分15秒で優勝。東京五輪代表の座を射止める。東京五輪後は、ケガに苦しむも、2024大阪国際女子マラソンでは中盤から積極的に仕掛ける走りを見せ2時間18分59秒のタイムで2位(日本人1位)に入り、日本記録を19年ぶりに更新し、2大会連続の五輪代表に内定。今回4回目となる社の都でのレースで世界につながる走りに期待。

自己最高記録

5000m: 15分26秒39(2022ホクレンDC千歳)
10000m: 31分34秒94(2020ホクレンDC深川)
ハーフマラソン: 1時間08分28秒(2022函館マラソン)
30km: 1時間38分35秒(2020青梅マラソン)
マラソン: 2時間18分59秒(2024大阪国際女子マラソン)

主な戦績

2024大阪国際女子マラソン/2位/2時間18分59秒 *アジア・日本最高
2023名古屋ウィメンズマラソン/3位/2時間22分32秒
2022函館マラソン(ハーフ)/1位/1時間08分28秒
2020青梅マラソン(30km)/1位/1時間38分35秒 *日本最高

202

[車いす特別招待]

副島 正純 SOEJIMA Masazumi

ソシオ SOEJIMA 1970年8月31日 (53歳)



長崎県諫早市出身。23歳の時、事故により下半身不随になり車いす生活となった。2014年シーズアスリートを“卒業”し特別サポート選手として活動。一般社団法人ウィルチアアスリートクラブ ソシオ SOEJIMAを立ち上げ、障害を持った子どもたちのスポーツへのチャレンジをサポートしている。2019 第31回全国車いすマラソン大会では大会新記録で1位となり、その後の大分車いすマラソン、東京マラソンでも好成績を収め、今回も活躍が大いに期待される。

自己最高記録

マラソン: 1時間18分50秒(2011ポストンマラソン)

主な戦績

2023東京マラソン/5位/1時間30分40秒
2021大分国際車いすマラソン/5位/1時間29分23秒
2021東京マラソン/9位/1時間33分27秒
2020大分車いすマラソン/5位/1時間26分47秒
2019第31回全国車いすマラソン/1位/1時間26分39秒 *大会新記録

401

[車いす特別招待]

喜納 翼 KINA Tsubasa

琉球スポーツサポート 1990年5月18日 (33歳)



沖縄県うるま市出身。学生時代はバスケットボール選手として日トレーニングに明け暮れており、中学・高校生のときには沖縄県代表選手に選出された経験がある。大学の時に、トレーニング中の事故が原因で車いす生活に。スポーツからはしばらく離れていたが、大学卒業後、風を切って走る疾走感にひかれて車いす陸上を始める。車いすマラソンで有利な長い腕やハードな練習も音を上げずにやり切れる根気強さを武器に、2019年の大分国際車いすマラソンでは日本記録を樹立。その後も2020年の東京マラソンで1位(大会新記録)、2021年の東京パラリンピックにも出場し7位入賞、2022年の東京マラソンで1位と今後も大いに活躍が期待される選手である。

自己最高記録

マラソン: 1時間35分50秒(2019大分国際車いすマラソン)

主な戦績

2022東京マラソン/1位/1時間40分21秒
2021東京パラリンピック女子マラソン/7位/1時間42分33秒
2021大分国際車いすマラソン/1位/1時間40分13秒
2020東京マラソン/1位/1時間40分00秒 *大会新記録
2019大分国際車いすマラソン/2位/1時間35分50秒 *日本新記録

404

2. 実業団等招待選手

【男子】



ベナード・キメリ **21**
BENARD Kimeli
富士通
2024 東京マラソン
2時間08分34秒
2019 Sportisimo プラハハーフマラソン
1位/59分07秒



パトリック・ワンブイ **22**
PATRICK Wambui
NTT 西日本
2021 全日本実業団ハーフマラソン
1位/1時間00分12秒
2020 香川丸亀国際ハーフマラソン
9位/1時間01分03秒



設楽 悠太 **23**
SHITARA Yuta
西鉄
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分58秒
2022 大阪マラソン
2時間13分19秒



西山 和弥 **24**
NISHIYAMA Kazuya
トヨタ自動車
2023 大阪マラソン
6位/2時間06分45秒
2022 全日本実業団ハーフマラソン
5位/1時間00分41秒



村山 謙太 **25**
MURAYAMA Kenta
旭化成
2024 大阪マラソン
2時間09分00秒
2022 大阪ハーフマラソン
6位/1時間01分45秒



小椋 裕介 **26**
OGURA Yusuke
ヤクルト
2022 上尾ハーフマラソン
2位/1時間01分48秒
2021 びわ湖毎日マラソン
5位/2時間06分51秒



上門 大祐 **27**
UEKADO Daisuke
大塚製薬
2021 福岡国際マラソン
6位/2時間08分56秒
2021 札幌チャレンジハーフマラソン
4位/1時間01分49秒



木村 慎 **28**
KIMURA Shin
Honda
2024 東京マラソン
2時間07分34秒
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分08秒



下田 裕太 **29**
SHIMODA Yuta
GMO インターネットグループ
2020 東京マラソン
2時間07分27秒
2020 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間01分52秒



金子 晃裕 **30**
KANEKO Akihiro
コモディイダ
2024 大阪ハーフマラソン
1時間01秒54秒
2022 大阪マラソン
2時間11分39秒



名取 燎太 **31**
NATORI Ryota
コニカミノルタ
2023 青梅マラソン (30km)
1位/1時間31分57秒
2023 大阪ハーフマラソン
6位/1時間01分55秒



欠場

前田 将太 **32**
MAEDA Shota
ロジスティード
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分44秒
2021 八王子ロングディスタンス (10000m)
4組1位/28分05秒62



熊橋 弘将 **33**
KUMAHASHI Hiromasa
山陽特殊製鋼
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分14秒
2023 東京マラソン
2時間11分24秒



井上 亮真 **34**
INOUE Ryoma
中電工
2024 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間02分14秒
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分07秒



長田 駿佑 **35**
NAGATA Shunsuke
SUBARU
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分13秒



河村 悠 **36**
KAWAMURA Haruka
自衛隊体育学校
2023 防府読売マラソン
7位/2時間10分57秒
2020 東京箱根間往復大学駅伝予選会(ハーフ)
1時間02分39秒



秋山 清仁 **37**
AKIYAMA Kiyohito
愛知製鋼
2022 大阪ハーフマラソン
2位/1時間01分23秒
2022 福岡国際マラソン
7位(日本人)1位/2時間08分43秒

【女子】



欠場

キプケモイ・ジョアン **221**
KIPKEMOI Joan
九電工
2022 ゴールデンゲームズinのべか (5000m)
5位/15分07秒49
2021 山陽女子ロードレース(ハーフ)
3位/1時間09分38秒



中野 円花 **222**
NAKANO Madoka
岩谷産業
2024 大阪国際女子マラソン
9位/2時間26分50秒



清田 真央 **223**
KIYOTA Mao
スズキ
2024 大阪ハーフマラソン
3位/1時間10分56秒
2023 名古屋ウィメンズマラソン
2時間29分20秒



池田 千晴 **224**
IKEDA Chiharu
日立
2023 マラソングランドチャンピオンシップ
8位/2時間27分14秒
2023 大阪国際女子マラソン
7位/2時間25分59秒



川内 理江 **225**
KAWACHI Rie
大塚製薬
2024 大阪国際女子マラソン
2時間28分28秒
2022 大阪国際女子マラソン
7位/2時間25分35秒



和久 夢来 **226**
WAKU Mirai
ユニバーサルエンターテインメント
2023 名古屋ウィメンズマラソン
7位/2時間25分58秒



森田 香織 227
 MORITA Kaori
 パナソニック
 2023 東京マラソン
 9位 / 2時間26分31秒
 2022 仙台国際ハーフマラソン
 6位 / 1時間14分08秒



中村 優希 228
 NAKAMURA Yuki
 パナソニック
 2023 青梅マラソン (30km)
 2位 / 1時間46分47秒
 2023 まつレディースハーフマラソン
 1位 / 1時間10分48秒



堀江 美里 229
 HORIE Misato
 シスメックス
 2023 神戸マラソン
 1位 / 2時間33分04秒
 2022 大阪マラソン
 1位 / 2時間32分10秒



高橋 舞衣 230
 TAKAHASHI Mai
 コモディイダ
 2024 愛媛マラソン
 6位 / 2時間50分02秒
 2023 日本学生女子ハーフマラソン選手権
 1時間17分10秒



古本 紗彩 231
 FURUMOTO Saaya
 十八親和銀行
 2023 山陽女子ロードレース(ハーフ)
 1時間14分07秒



和田 有菜 232
 WADA Yuna
 JP 日本郵政グループ
 2023 エディオンDC in 大阪 (10000m)
 A組 3位 / 32分49秒59



斎藤 凜 233
 SAITO Rin
 愛知電機
 2024 読売犬山ハーフマラソン
 1時間26分28秒
 2023 仙台国際ハーフマラソン
 1時間26分31秒

【車いす】



河室 隆一 402
 KAWAMURO Ryuichi
 ホンダアスリート
 2023 第42回大分国際車いすマラソン
 1時間35分09秒
 2023 仙台国際ハーフマラソン
 3位 / 50分07秒



武村 浩生 403
 TAKEMURA Koki
 LINE ヤフー株式会社
 2023 第42回大分国際車いすマラソン
 1時間42分58秒
 2022 グランマーズマラソン
 7位 / 1時間28分42秒

3. 大学招待選手

【男子】

- | | | |
|-----------|---|-------|
| 51 | 小松 聖 KOMATSU Hijiri 2023 世田谷246ハーフマラソン / 1時間03分33秒 | 駒澤大学 |
| 52 | 村上 響 MURAKAMI Hibiki 2023 世田谷246ハーフマラソン / 1時間03分42秒 | 駒澤大学 |
| 53 | 嘉数 純平 KAKAZU Jumpei 2023 香川丸亀国際ハーフマラソン / 1時間02分18秒 | 國學院大学 |
| 54 | 吉田 蔵之介 YOSHIDA Kuranosuke 2023 上尾シティハーフマラソン / 1時間02分29秒 | 國學院大学 |

【女子】

- | | | |
|------------|---|--------|
| 234 | 鈴木 日菜子 SUZUKI Hinako 2023 大阪ハーフマラソン / 1時間15分52秒 | 大東文化大学 |
|------------|---|--------|

4. 東北陸上競技協会 招待選手

【男子】

- | | | |
|-----------|--|-----------|
| 61 | 小笠原 太一 OGASAWARA Taichi 2023 上尾シティハーフマラソン / 1時間05分47秒 | 青森陸上競技協会 |
| 62 | 樋渡 翔太 HIWATASHI Shota 2023 一関国際ハーフマラソン / 年代別4位 / 1時間09分27秒 | 北上市陸上競技協会 |
| 63 | 土井 健太郎 DOI Kentaro 2023 立川シティハーフマラソン / 1時間06分05秒 | 土崎陸友会 |
| 64 | 小島 翼 OBATA Tsubasa 2023 日本体育大学長距離競技会 (10000m) / 29分49秒68 | 会津陸上競技協会 |
| 65 | 萩川 暁 HAGI KAWA Ko 2023 宮城県陸上競技選手権 (10000m) / 2位 / 33分52秒51 | 東北学院大学 |

【女子】

- | | | |
|------------|--|--------------|
| 251 | 工藤 亜樹子 KUDO Akiko 2023 一関国際ハーフマラソン / 年代別2位 / 1時間21分35秒 | Try Again RC |
| 252 | 鈴木 絵里 SUZUKI Eri 2024 大阪国際女子マラソン / 2時間44分08秒 | 秋田陸上競技協会 |
| 253 | 大淵 芽亜里 OBUCHI Meari 2023 つくばマラソン / 1位 / 2時間42分17秒 | ユナイテッドアスリーツ |

5.久米島マラソン 招待選手

71 新本 晃士 ARAMOTO Koji
2020NAGOハーフマラソン/1時間17分57秒 久米島空港

271 山本 果歩 YAMAMOTO Kaho
2023久米島マラソン(ハーフ)/2時間14分49秒

6.東北学生陸上競技連盟招待選手

261 小野寺 美麗 ONODERA Mirei
2023山陽女子ロードレース(ハーフ)/1時間25分16秒 石巻専修大学

7.その他 有力選手

【男子】

| bib | 氏名 | 所属クラブ | 主な記録 |
|-----|-----------|----------------|--------------------------------------|
| 81 | ポール・クイラ | JR東日本 | 2023上尾シティハーフマラソン/1位/1時間00分47秒 |
| 82 | ジェームス・ブヌカ | セキノ興産 | 2021東京箱根間往復大学駅伝予選会(ハーフ)/4位/1時間00分34秒 |
| 83 | 土方 英和 | 旭化成 | 2022東京マラソン/2時間08分02秒 |
| 84 | ビダン・カロキ | トヨタ自動車 | 2023東京レガシーハーフマラソン/3位/1時間01分20秒 |
| 85 | 西山 雄介 | トヨタ自動車 | 2024東京マラソン/9位/2時間06分31秒 |
| 86 | 西田 壮志 | トヨタ自動車 | 2024延岡西日本マラソン/6位/2時間11分41秒 |
| 87 | 山本 憲二 | マツダ | 2024東京マラソン/2時間08分33秒 |
| 88 | 定方 駿 | マツダ | 2024大阪ハーフマラソン/1位/1時間01分41秒 |
| 89 | 足羽 純美 | Honda | 2023防府読売マラソン/2位/2時間08分37秒 |
| 90 | 中山 顕 | Honda | 2024大阪マラソン/2時間08分52秒 |
| 91 | 中村 祐紀 | 住友電工 | 2022防府読売マラソン/1位/2時間08分29秒 |
| 93 | 真船 恭輔 | SUBARU | 2024全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分53秒 |
| 94 | 細谷 翔馬 | ロジスティード | 2024全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分56秒 |
| 95 | 宮下 隼人 | コニカミノルタ | 2023香川丸亀国際ハーフマラソン/1時間02分37秒 |
| 96 | 北野 開平 | 山陽特殊製鋼 | 2022大阪ハーフマラソン/1時間02分40秒 |
| 97 | 山下 侑哉 | サンバルクス | 2024延岡西日本マラソン/5位/2時間11分37秒 |
| 98 | 諸星 颯大 | サンバルクス | 2022関東学生対校選手権/1時間03分23秒 |
| 99 | 嶋津 雄大 | GMOインターネットグループ | 2024大阪マラソン/2時間11分20秒 |
| 100 | 小野 知大 | GMOインターネットグループ | 2022大阪マラソン/2時間10分15秒 |
| 101 | 斉藤 翔太 | JFEスチール | 2021全日本実業団ハーフマラソン/1時間03分17秒 |
| 102 | 平 和真 | Kao | 2024別府大分毎日マラソン/2時間15分10秒 |
| 103 | サイラス・ジュイ | On | 2022北海道マラソン/2時間36分01秒 |
| 104 | 川内 鮮輝 | Jaybird | 2023金沢マラソン/8位/2時間19分15秒 |

【女子】

| bib | 氏名 | 所属クラブ | 主な記録 |
|-----|-------|-------|-------------------------------------|
| 281 | 菊地 優子 | しまむら | 2024全日本実業団ハーフマラソン/1時間13分06秒 |
| 282 | 小川 那月 | スズキ | 2024大阪国際女子マラソン/2時間39分30秒 |
| 283 | 向井 優香 | ベアーズ | 2023日本体育大学長距離競技会(5000m)/4位/16分08秒89 |

8. スペシャルアンバサダー等

SPECIAL AMBASSADOR

スペシャルアンバサダー

2012年大会よりご協力いただいている高橋尚子さん(シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト)に、今大会もスペシャルアンバサダーに就任していただきました。

レース当日5月12日(日)のスタート・フィニッシュ会場及びコース内でのランナーの皆様への応援に加え、大会の運営等に関して各種アドバイスをいただくなど、大会全般に渡りご協力をいただきます。

PROFILE

岐阜県出身

中学から本格的に陸上競技を始め、県立岐阜商業高校、大阪学院大学を経て実業団へ。98年名古屋国際女子マラソンで初優勝、以来マラソン6連勝。2000年シドニー五輪金メダルを獲得し、同年国民栄誉賞受賞。2001年ベルリンでは女性として初めて2時間20分を切る世界記録(当時)を樹立する。08年10月現役引退を発表。

- 公益財団法人日本オリンピック委員会 評議員
- 公益財団法人日本陸上競技連盟 評議員
- 公益財団法人日本パラスポーツ協会 理事
- 一般社団法人パラスポーツ推進ネットワーク 理事長
- 公益財団法人日本財団パラスポーツセンター 評議員
- 一般社団法人RainboW Walking 理事
- スターツコーポレーション株式会社 社外取締役
- スズキ株式会社 社外取締役
- その他 TBSスポーツキャスター、JICAサポーター、中日新聞社本社客員などで活躍中。



高橋 尚子

TAKAHASHI Naoko

高橋尚子さんからのメッセージ

皆さん、こんにちは、大会アンバサダーの高橋尚子です。

昨年の仙台国際ハーフマラソンは国際会議の関係で6月開催となりましたが、今年は通常の5月第二日曜日に行われます。そして今年はオリンピック・パラリンピックイヤー！日本のエリートランナーだけでなく、アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずきさんもスペシャルゲストランナーとして参加してくれるので、より一層盛り上がる大会になるのは間違いないと思います。

大会に関わるすべての人たちへの感謝を込めて、緑多き社の都仙台を皆さんと触れ合いながら素敵な時間を共有できることを楽しみにしています。

ランナーの皆さん、地元の皆さん、沿道の応援の皆さん、ボランティア、スタッフの皆さん、全員一丸となって笑顔あふれる大会にしましょう！

SPECIAL GUEST RUNNER

スペシャルゲストランナー

PROFILE

三重県伊勢市出身

- アテネオリンピック金メダル
- パリ世界陸上銀メダル
- 国内三大マラソン優勝(名古屋国際女子マラソン 大阪国際女子マラソン 東京国際女子マラソン)
- 2005年ベルリンマラソン 日本記録・アジア記録樹立2時間19分12秒

- 岩谷産業陸上競技部アドバイザー
- ランニングステーション「tonarino(トナリノ)」の名誉館長
- 神戸世界パラ陸上アンバサダー
- 日本プラインドマラソン協会理事
- 世界陸上2025組織委員会理事



野口 みずき

NOGUCHI Mizuki

野口みずきさんからのメッセージ

皆さんこんにちは！野口みずきです。

仙台は都会と自然が上手く融合していて素敵な街で、景色を眺めるだけでも安らぎを与えてくれるイメージがあります。

そして、仙台国際ハーフマラソンといえば選手時代何度も出場させて頂き、三度優勝を飾った思い出のある大会です。

そのうち二回は絶頂期で二回とも1時間08分台、最後の一回は長い故障から立ち上がった1時間10分台…あの10分台は多くの皆さんからの熱い応援で自信を取り戻した優勝でした。私にとって仙台は安らぎと自信を付けてくれた場所です。そのような場所で皆さんと一緒に楽しく走れる事、とても嬉しく感じています！皆さんはどんな事を想いながら、どんな目標をもって走られるのでしょうか？

その想いに、目標に、少しでも後押し出来るように他のゲストの皆さんと一緒に盛り上げて行きたいと思います！

GUEST RUNNER

ゲストランナー

PROFILE

福岡県出身

高校時代、陸上部の中距離選手として関東大会に2回出場したものの高校卒業と同時に陸上も卒業。卒業後は専門学校に進み、大手町でOL生活を送っていたが、昼休みに会社の同僚と皇居を訪れた際、ジョギングを楽しんでいる人がたくさんいることに感動し、翌日から皇居を走り始める。その後、1991年東京国際女子マラソンや1994年パリマラソンなどで優勝するなど輝かしい成績を残している。1992年には『東京都民文化栄誉賞』『朝日スポーツ賞』を受賞。2009年には『外務大臣表彰』を受賞。

- 公益財団法人ブルーシー & グリーンランド財団評議員
- 東京都公園協会 理事
- NPO法人[AAR JAPAN] 理事
- 一般財団法人アールビーズスポーツ財団 評議員
- 一般社団法人明大アスレチックマネジメント 理事



谷川 真理

TANIGAWA Mari

谷川真理さんからのメッセージ

大会ゲストランナーとして皆さんと一緒にさせていただきます谷川真理です！

前半は、はやる気持ちとスピードを抑えて、後半のためにエネルギーを蓄えておきましょうね。マラソンの魅力はなんと言ってもそれぞれの楽しみ方をランナー自身が選択出来ること。新緑が美しい仙台の街を走れるこの素晴らしい大会をぜひ身体いっぱい満喫して下さいね。

最高の笑顔とともに一緒に駆け抜けましょう！

3) 各種イベントについて

1. 仙台ハーフ プロギング -ジョギング&ごみ拾い-

【開催日】 2024年4月27日(土)8:30~11:30 【会場】 弘進パーク仙台

プロギングは、スウェーデン発祥の新しいフィットネスで、ごみ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)が融合したアクティビティ。仙台国際ハーフマラソンのコース周辺の公園などを巡り、新たな地域の魅力を発見しながら、プロギングを楽しみ、心と身体の健康や、環境にも配慮した行動をするきっかけにつなげる。

【申込人数】 50名(4/10現在) ※4/14(日)まで申込延長

2. 仙台ハーフ ファミリーラン2024

【開催日】 2024年4月27日(土)9:00~12:50 【会場】 弘進パーク仙台

仙台国際ハーフマラソンの関連イベントとして2回目の開催となる順位を競わないファンランイベント。

コースは、仙台市陸上競技場(弘進ゴム アスリートパーク仙台)と宮城野原公園総合運動場内の一部を使用する1周1kmの特設周回コース。今回は、親子ペアの部に小学4~6年生のカテゴリーを追加。

【申込人数】 927名

| | | |
|-------|----------------------|-------------|
| 〈内 訳〉 | ① 2kmの部 | …106名 |
| | ② 2km親子ペアの部(小学1~6年生) | …660名(330組) |
| | ③ 5kmの部 | …161名 |

3. 谷川真理ランニングクリニック

【開催日】 2024年4月27日(土)14:00~15:30 【会場】 弘進パーク仙台

ゲストランナーの谷川真理さんを講師にお迎えし、本大会参加者限定のランニングクリニックを開催。

【申込人数】 95名

4. ランナー応援・沿道イベント

【開催日】 2024年5月12日(日) ※時間内で随時開催

ランナーの完走を応援するため、コース沿道において応援イベントを実施。

参加団体は、伊達武将隊や在仙プロスポーツチーム、仙台すずめ踊り等。

5. 仙台ハーフ×仙台まちいこスタンプラリー

【実施期間】 2024年4月26日(金)~2024年5月13日(月)

ランナー等参加者向けにスタンプラリーイベントを開催。

スマートフォンアプリ「仙台まちいこ」を使用し、大会当日の仙台市陸上競技場ほか、市内飲食店やお土産店等で開催期間中にスタンプを2つ集めて、賞品に応募できる。